

長良川の樹木伐開について

平成20年6月29日
国土交通省中部地方整備局

木曾川上流 樹木伐開について

❖ 目的

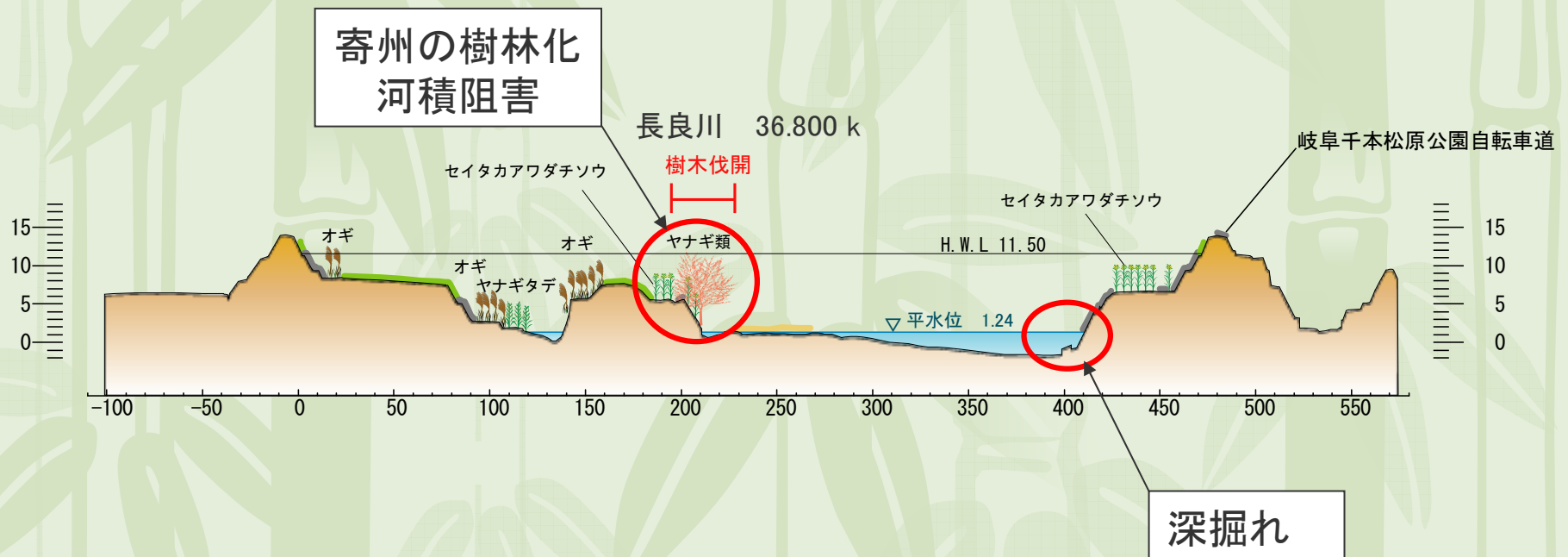
- 1) 治水機能(流下能力向上、水位の低下)
 - 2) 河川管理施設の局所洗掘、浸食防止
 - 3) 河川管理施設の損傷防止
 - 4) 支川排水障害の防止
 - 5) 河川監視(河川巡視、CCTV)
 - 6) 不法投棄対策、防犯対策
- 等

長良川の課題

1. 河道整備流量を安全に流下させる河道断面積が確保されていない。
2. 寄州の樹林化により、対岸の護岸前面が深掘れし、または、将来進行する恐れがある。
3. 堤防や河川管理施設等の周辺に生育している樹木は、治水等の機能に影響を与える。
4. 河道内樹木の繁茂により、河川管理のための河川巡視やCCTV等の監視施設の視界を妨げている。
5. 堤防際に樹木が繁茂し、ゴミ等の不法投棄や防犯上の観点などより地域住民から樹木伐開の要望が出ている。

長良川の課題①

1. 河道整備流量を計画高水位下で安全に流下させるために必要な河道断面積が確保されていない。
2. 寄州の樹林化により、対岸の護岸前面が深掘れし、または、将来進行する恐れがある。



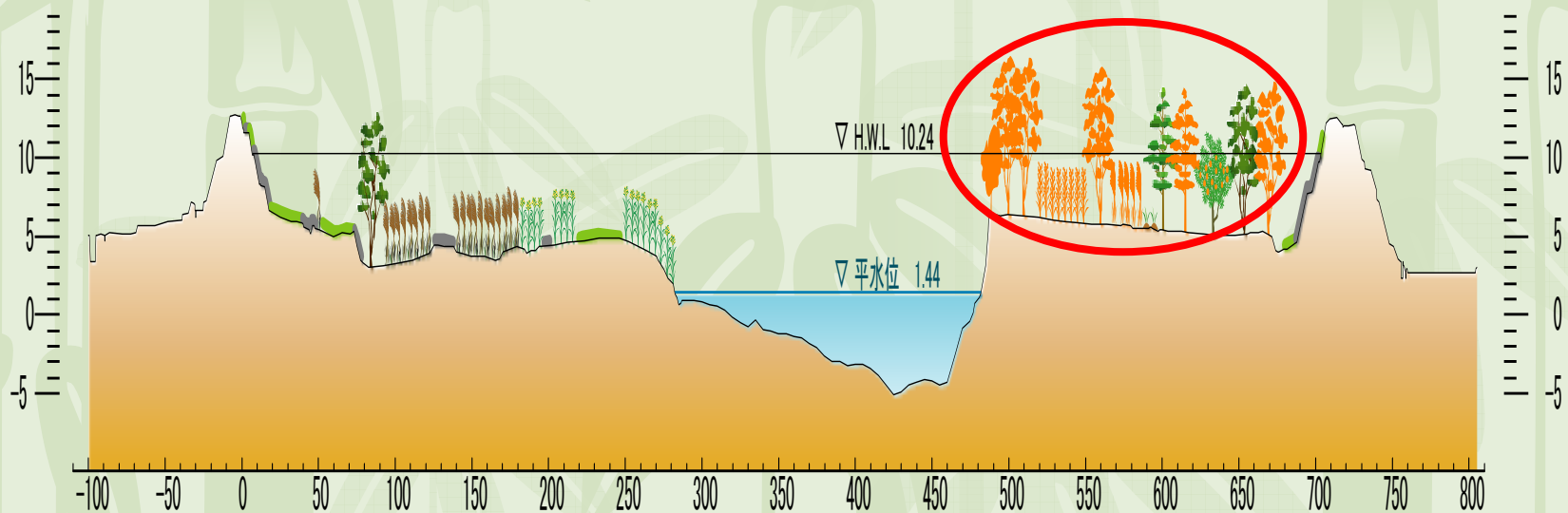
長良川の課題②

- ❖ 堤防や河川管理施設等の周辺に生育している樹木は、これら施設の安全性に悪影響を与える。



長良川の課題③

4. 河道内樹木の繁茂により、河川管理のための河川巡視やCCTV等の監視施設の視界を妨げている。
5. 堤防際に樹木が繁茂し、ゴミ等の不法投棄や防犯上の観点などより地域住民から樹木伐開の要望が出ている。



樹木伐開の基本方針

1. 治水

整備計画流量を安全に流下させるために、洪水流下の支障となる樹木の伐開や河道の掘削を実施する。

2. 環境

樹林化の進行により環境が悪化した箇所について、その状況や生物の生息・生育状況等により、優先度を設定し、保全・再生に努めるものとする。

3. 維持管理

河川管理施設に影響を与える樹木及び河川巡視等に支障となる樹木は伐開等を実施する。

樹木伐開の進め方

❖ 基本的な考え方の提案

- ・事務所のホームページ等で伐開計画概要（日時、伐開箇所及び伐開方法（案）等の情報を公開



❖ 地域の方々の意見を聴取

- ・地域の方々から意見をいただくとともに、NPO、漁協、野鳥の会等へヒアリングを行う。



❖ 樹木伐開

- ・頂いた意見への対応の可否について検討し、必要に応じて樹木伐開計画を修正し、伐開を実施する

平成20年度 樹木伐開予定範囲



※希少種などの情報については記載してません

平成20年度 長良川樹木伐開工事 計画範囲 (35.8k~37.4k)

平成20年度 長良川樹木伐開の概要

樹林化を抑制するために伐開・除根を行います。
水際環境については、自然の洪水の繰り返しによる自然の働きにゆだねます。

上記については、以下のような点に配慮して施工を考えています。

- ❖ 野鳥等の営巣の時期を避け、10月以降に施工する。
- ❖ 鮎、サツキマス等の漁期、産卵期を避け、水際の施工は11月中旬から3月中旬までとする。
- ❖ 水際部については、作業時の濁水を最小限とするよう、最後に施工します。

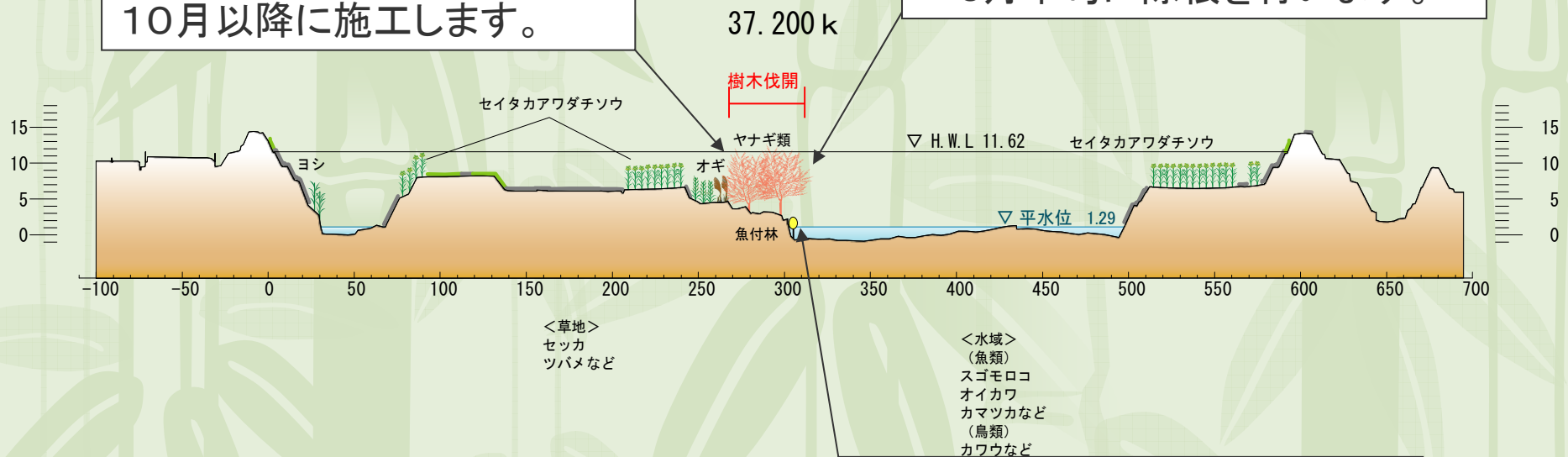
平成20年度 長良川樹木伐開の概要

樹林化を抑制するために伐開・除根を行います。

水際環境については、自然の洪水の繰り返しによる自然の働きにゆだねます。

野鳥等の営巣の時期を避け、
10月以降に施工します。

漁業期、産卵期を避け11月中旬
～3月中旬に除根を行います。



水際施工時には水質汚濁防止
フェンスを張るなど河川に与える
影響を極力少なくします。